

2019年9月市議会

みずた こうじ

連絡先

ほんぐ

NO.126

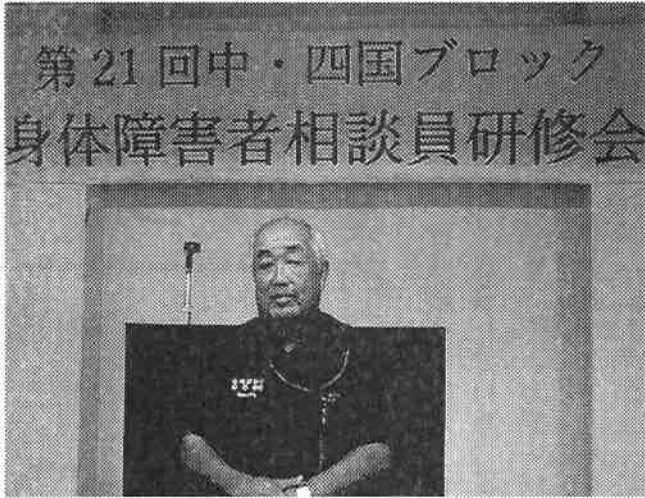
水田恒二の

伊予市議会だより

伊予市本郡46

TEL 089-982-3675

FAX 089-982-3474



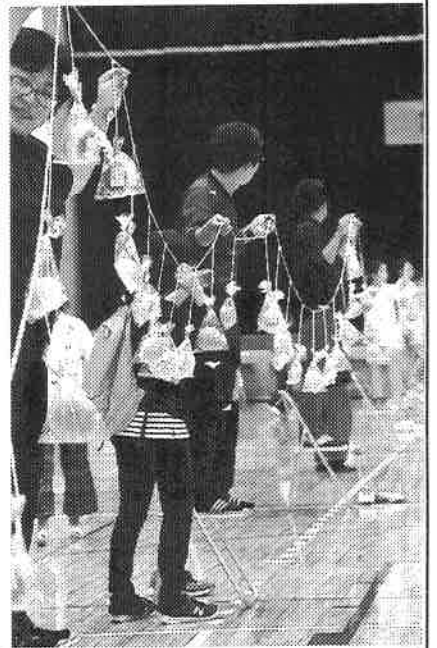
中・四国ブロック身体障害者相談員研修会開催!

第21回中・四国ブロック身体障害者相談員研修会が、10月3日、岡山市で開催された。中四国9県からの参加者は約120人で、本県からの障害者相談員の参加者は、中四国9県中、下から2番目の5人であり、その内2名が本市からの参加であった。(水田を含む)
日本身体障害者団体連合会阿部会長の「私達の困っている事を改善する事に力を傾けたい。」との挨拶に続き、中四国身体障害者相談連絡協議会山根会長の「川さな事でも良いから、相談にのってあげて下さい。」との訴えがあった。
講演：東京パラリンピックを契機とした共生社会の実現と、それに向けた地域の役割を内閣官房の岩川参事官より受けた。
午後は、総社市川田氏より、「

西日本豪雨・アルミ工場爆発時の地域住民の避難行動についてとの教訓に耳を傾けた。「行政からの情報には限界があり、普段から、地域が独自に顔の見える関係を作らないといけない。」と講演を締めくくった。次回開催県の藤田会長から、「来年徳島で再会しよう」との言葉で、岡山を後にした。

大和(神奈川)・島田(静岡)両市を訪問!!

10月9・10日、神奈川県大和市と静岡県島田市へ、総務委員の一員として行政視察に赴いた。かつて水田議員は、伊予市議会に於いて、65才から高齢者と言わないでと要求をしたが、2019年から60歳代を高齢者と言わない都市やまよとを宣言した大和市(消防本部)を訪問し、往時を偲んだ。同市では、ドローンに基を備え、消防職員23名中13名が操縦可能で、内13名を操縦者にあてていた。昨年2月のドローン隊発足以来、5件の出勤があった。本市に於いては、火災時に於ける上空からの偵察以上に、中山・双海地域の山間部や海岸線、海上の災害や事故の際の偵察に大いに役立つと思った。島田市は1876年日本初の女性参政権行使。6年連続女性議会開催。



「第14回市民ふれあいのつどい」盛大に開催!!

10月19日、市民体育館において、伊予市障害者団体連合会主催の「ふれあいのつどい」が、200名余の市民の参加で行われた。毎年開催されてきた「ふれあいのつどい」も、多くの市民ボランティアの支えにより、回を重ねてきた。身体・精神・知的の3障害4団体で構成される伊予市障害者団体連合会は、年を経るごとに会員の高齢化等により、会員の減少に頭を悩めている。ややもすると、閉じこもりがちになる障害当事者が、仲間との交流、又、健常者との交流を深める一環としての意味もあり、一人でも多くの参加を今後も願う。各障害者団体への永年の支援者を表彰後、催し物に移った。手話による自己紹介を「手話サークルどんぐり」より指導を受けた。全国障害者スポーツ大会の種目であるフライングディスクを協会長の指導で楽しんだ。最後は体育館一杯に響いた。パンドのパン食い競争「100人でガブリ」で幕を閉じた。

10月19日、市民体育館において、伊予市障害者団体連合会主催の「ふれあいのつどい」が、200名余の市民の参加で行われた。毎年開催されてきた「ふれあいのつどい」も、多くの市民ボランティアの支えにより、回を重ねてきた。身体・精神・知的の3障害4団体で構成される伊予市障害者団体連合会は、年を経るごとに会員の高齢化等により、会員の減少に頭を悩めている。ややもすると、閉じこもりがちになる障害当事者が、仲間との交流、又、健常者との交流を深める一環としての意味もあり、一人でも多くの参加を今後も願う。各障害者団体への永年の支援者を表彰後、催し物に移った。手話による自己紹介を「手話サークルどんぐり」より指導を受けた。全国障害者スポーツ大会の種目であるフライングディスクを協会長の指導で楽しんだ。最後は体育館一杯に響いた。パンドのパン食い競争「100人でガブリ」で幕を閉じた。

第一〇九回水田恒二の

市民何でも無料相談

年金・遺産・税金・土地・事故・事件・教育問題(いじめを含む)・障害者問題等、何でも相談にのります。

★とき 十一月十七日(日曜日)

★ところ 郡中地区公民館(元ふるさと創生館)

★相談員 宇都宮まゆみ弁護士(2〜4時半)

★税理士さんもきます(2〜4時半)

★水田恒二 (1〜5時)

当日来られない方は、電話でも手紙でも結構です。ご相談ください。一〇回は、二月十六日の予定です。(変更の可能性あり) 連絡先は水田宅まで。一面右上を見て下さい。

2019年度一般会計補正予算

ふるさと納税支援業務委託料(ふるさと納税申込増加の見込みの為)	258 万円
自主防災組織活性化支援事業費補助金 17万円×7団体(中村・三島・市場・福荷・米津B・中山町泉町・佐礼谷)	119 万円
佐礼谷ふれあいプラザ解体工事(1〜3F迄柱状のストーブの煙突にアスベスト使用)	2,490 万円
児童扶養手当給付費(制度改正により支給回数の変更による補正。受給者約300人分)	3,655 万円
児童福祉費 施設型給付・地域型保育給付運営費負担金(くじら・みかん・まんぼう・ぺんぎん)	2,448 万円
児童福祉費 施設等利用給付費(幼保無償化の為)	871 万円
堀江選果場機能向上工事負担金	568 万円
次世代につながる果樹産地づくり推進事業費補助金(紅まどんな等 9戸から要望)	273 万円
教育奨励基金積立金(東京在住本市出身者より寄付)	1,000 万円
郡中小学校屋内運動場ステージ緞帳(どんちょう)取替工事	502 万円
双海中学校夜間照明東側柱鳥類対策工事(柱上のガラスの裏に毒蛇ハメ居り電気事故の恐れあり)	8 万円

水田議員の

一般質問

学校等のAEDの効果的な設置と運用



水田 ①学校や運動公園などの広い敷地では片道1分以内の場所にAEDを設置するのが望ましいと、日本小児循環器学会が指針を出している。本市の状況は。

②いついかなる時も使用できる状態で保管されているか。施設などはされていないか。

③ASUKAモデルに基いた心臓マッサージ法とAEDの使用法を学ぶ講習を、少なくとも年一回は教職員が受けるようにすべきと考えるが、本市の状況は。

④救急車が事故現場へ一刻も早く到達できるよう、学校の場内整備はされているか。

教育委員会事務局長 ①学校により違いはあるが、体育館や保健室前、職員室前等、緊急度が高いと思われる場所に、すぐに取り出せるように設置してある。また、水泳指導やマラソン等、通常より危険性が高くなる場合には、その場にAEDを持ち込んでいる。しおさい公園では、体育館1階の階段横と野球バックネット裏に各1個ずつ設置している。

②施設せず、取り出しやすい場所に保管している。夜間等、校舎が閉まっている緊急時には窓を割って使用する旨を表示している。

③AED講習は、小・中学校全員の教職員を対象に毎年実施している。ASUKAモデルについては今後しっかり検討したい。

④小・中学校では、救急車等が少しでも現場に早く到達できるように日頃から整理整頓を心掛けていく。

消費増税対策としての

プレミアム付商品券発行の効果

水田 2万円で500円の商品券50枚を購入できるプレミアム付商品券が、消費増税で負担増になりやすい。経済的に困難している層や子どものいる世帯向けに発行されるが、前者には使いにくいのでは、おつりが出ないうえ、2万円をまとめて出すことが難しいと思われる。400円ずつ払い、5回に分けて購入することもできるが、もっと小分けして購入できるように、市で対応できないか。

また、生活保護世帯は、別途対象が施されているので購入できないと理解しているが、そうした理解でよいのか。さらに、消費増税対策として、他にどのようなことがなされているのか。

産業建設部長

プレミアム付商品券は低所得者層等への消費増税の影響を緩和する趣旨で発行されている。本市でも同旨のもと対象者に配慮した形で発行されていると考えている。

総務課長

その他の件については、補正予算案に計上しているもので、総務委員会でご審判したい。

高齢者と

特殊詐欺対策

水田 電話による特殊詐欺対策のため、「通話は録音してあります」といったメッセージを既設の留守番電話機能を使って流すよう、社会福祉協議会等の組織や市の機関を通じて高齢者に周知しては、また、大阪府警に備い、自動通話録音機を高齢者に紹介しては。

産業建設部長 若者行政の観点から、特定の機器を特定の対象者に向けてあつせんすることは考えていない。

経済雇用戦略課長

機器について利用者に情報提供し、各自の判断で購入してもらうようにすることは行っていない。

道の駅のさらなる活性化を求めて

水田 ①ふたみサイード公園に期間限定で設置されたストリートピアノが好評だったため、恒常的に設置し、道の駅活性化につなげては。また、市内の他の場所に設置できないか。さらに、臨海対策

長期保存を視野に入れた南京錠の展示方法を検討すべきでは。

②国道56号線、道の駅なかやまクラフトの里前の横断歩道を変更しては。現状では、長沢団地方面の住民が道の駅で買い物をして帰るさい、約50m先の横断歩道まで遠回りしなければならぬ。

あるいは、スピードを出す車が多いので、道路上に凹凸を付ける等、抑制する策が必要では。

産業建設部長 ①ストリートピアノは指定管理者の自主的取り組みであり、恒常的設置についても指定管理者の判断に委ねたい。来年に予定の公園の改修工事のため、

危機管理課長 留守番電話の利用や機器の紹介は、警察署や防犯協会等と連携して検討したい。

②クラフトの里前の横断歩道設置については、今年はじめ、経済雇用戦略課から伊予警察署に問い合わせた。必要性の低い横断歩道は幹線道路から撤去される傾向にあるため、一定数の利用者がいなければ新設は難しいとのことだった。既存の横断歩道を廃止し、別の場所に新設するには、地元住民の理解が欠かせないとの回答、不特定多数が国道を横断することが想定されにくい現状では申請の受付は難しいとの回答も得た。

国道56号線沿いにスクールバス停留所を持つ中山小ほか関係者で協議したが、横断歩道の新設は不要との意見でまとまった。さらなる要望については、関連する集落の皆さんの意見を集約の上、警察と相談していきたい。

十二月議会では、総務課・教育委員会・水道課・危機管理課等への一般質問を予定しています。伊予市政に望む事、伊予市民に訴えたい事がある方は、左記までお寄せ下さい。

伊予市 本郡四六 水田恒二 九八二一三六七五